

令和3年度

## 自己評価の報告書（ふくよか彩橋認定こども園）

評価項目	取り組み状況
教育方針・目標	<p>令和2年4月から「地域の子は地域で育てる」ことを主旨とし幼稚園と保育園の機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園として一体的な教育保育を行う。</p> <p>【理念・基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・明るく健康な子・素直で思いやりのある子・あいさつのでききる子</li><li>・乳幼児の最善の利益を考慮し、子どもの人権や主体性を尊重し、健やかな成長と保護者家庭との緊密な連携のもと子育て支援や地域とともに地域福祉向上に努める。</li><li>・自然豊かな環境・文化に関わり、様々な体験を行うことや地域の人々とふれあうことで、地域の良さを感じる。</li><li>・季節のあそび・行事などの活動を通して特色ある保育をすることで、興味や関心を高め、意欲・自主・協調などの社会性を養う。</li><li>・保護者に信頼される園づくり。</li><li>・時代とともに保育や教育の需要が常に変化していることに対応できる園であること。</li></ul>
教育内容の保護者への周知	<ul style="list-style-type: none"><li>・オリエンテーションを設け重要事項（園の運営・クラスの運営等）の説明を行う。</li><li>・毎月の園だよりを発行し、行事等を知らせている。</li><li>・ミニだより、クラスだよりを発行し各クラスのねらい、カリキュラム等を知らせている。</li><li>・行事等の様子を写真などで掲示する。</li></ul>

<p>教育環境の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくよか園舎（0歳児～3歳児）・彩橋園舎（4歳児・5歳児）に分かれて教育保育の実践を行い、活動等においては、両園舎にて合同保育を取り入れている。</li> <li>・月2回講師を招いての和太鼓、リズム遊びを取り入れている（3・4・5歳児）</li> <li>・年長児を中心とした異年齢児交流「ごっこあそび」を取り組む。</li> <li>・彩橋園舎において、絵本の貸し出しを取り組んでいる。（1日1冊・週末2冊）</li> </ul> <p>※今年度はコロナ感染防止のため行事等の縮小・中止となる。</p>
<p>保育教諭同士の協力連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜日は彩橋園舎、火曜日はふくよか園舎、水曜日は合同での職務会を取り入れ職員間のハウレンソウ（報告・連絡・相談）を行っている。</li> <li>・配慮を要する子どもや長期欠席の子どもたちについて情報を共通理解し、職員全体で支援に努めている。</li> <li>・様々な行事を通して係を中心に準備・進行・後片づけなどで職員が協力し助け合って同僚性を高め合っていくようにしている。</li> </ul>
<p>研修・研究の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修を中心に、職員を派遣し、保育の質を高めている。</li> <li>・園内外の研修を取り組んでいる。</li> </ul> <p>※今年度はコロナ禍のため延期・オンライン研修となる。</p>
<p>健康・安全・衛生管理の配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防対策として、マスク・手洗い・酸性水消毒の励行に努め、感染症の流行があれば、適宜判断し、保護者への文書配布、モバイルメール発信にて周知する。</li> <li>・毎月1～2回の避難訓練（火災・災害・不審者）を行い年1回は総合訓練を実施し、消防職員や駐在所の巡査の指導を受けている。</li> <li>・お散歩時や両園舎を行き来する場合は横断歩道を渡ることを知らせる。</li> <li>・心身の調和のとれた発達の基礎を培うために、散歩、園外保育、年齢に応じた運動あそびなどを年間計画として位置づけそれに基づいて取り組みを行っている。</li> <li>・安全管理担当を配置し、両園舎において（月2回）安全点検を行い、職員の安全管理意識を育て、環境の安全管理の徹底を行う。</li> <li>・うるま市主催の地震・津波災害においては、小中学校・地域ともに連携し防災訓練に参加している。今年度はコロナ禍の影響でシェイクアウト訓練となるが、3～5歳児は園独自で最終避難場所まで避難する。</li> </ul>

特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援児及び配慮を要する子の巡回相談を、リモートで行い一人ひとりに合った支援・計画に努める。</li> <li>・その状況に応じて各関係機関との連携を図り情報共有を行う。</li> <li>・保護者支援に努める。その都度面談も行い、就学時に向けて支援体制を行っている。</li> </ul>
情報の発信と受信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたより帳・ミニだより・クラスだより・園だより等を活用し、個々の子どもの様子は、保護者と直接話や電話をしたりして、情報交換を行っている。(園だよりや献立表等はホームページに掲載)</li> <li>・行事ごとにアンケートを実施し、保護者の声を受け入れ、改善できるように取り組んでいる。</li> <li>・緊急事態等やその他必要に応じて、保護者家庭への文書配布・モバイルメール発信を行っている。</li> <li>・玄関先や各クラスにおいてアンケート用紙と意見箱を設置</li> </ul>
地域への開放と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放(コロナ感染防止のため開放を中止することもあった)</li> <li>・園の行事等(夕涼み会・運動会・マラソン大会)においては地域の方も参加していただけるように地域の掲示板を活用、また、自治会のアナウンスで周知している。</li> <li>・地域においての行事等(ガージバル・イリチャンパーケー・ハーリー大会・区民運動会)に、参加し自治会や地域の方との交流を図っている。</li> <li>・一号認定児においての募集案内を各6地域(浜比嘉・桃原・宮城・池味・上原・伊計)へ、ポスター配布、掲示の依頼を行っている。</li> </ul> <p>※今年度はコロナ感染防止のため中止になることが多かった。</p>
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な接続に向け、こ・小連携連絡会を年4回行っている。</li> <li>・小学校の各学年との交流を図っている。(主に4・5歳児)</li> <li>・小学校の体育館・プールの使用・交通安全教室に参加する。</li> <li>・毎月の園・学校だよりを通して相互の行事等、活動内容の情報提供を行う。</li> <li>・小学校とは、こちらから小学校見学等で卒園児の様子を知ることができたり、小学校から園児の様子も見に来ていただいたり、連携を深めていった。今後も連携の強化に努めたい。</li> </ul>

## 令和3年度 全職員の自己評価総評及び課題

### ○よかった視点

- ・小学校や地域の関係機関との連携に向けて、必要な努力を行うことが出来ていた。
- ・部屋の環境構成（物の配置等を含め）は適切であった。

### ○改善すべき視点

- ・情報を必要とする人に十分な情報提供ができていなかった。
- ・園全体として今年度の保育の目標やねらいは、達成されてなかった。

課 題	改善策
○保育・教育の目標やねらいに対する意識希薄	○園の理念や保育教育方針等についての勉強会を行い、一人ひとりの認識を高め指導実践につなげていく。 ○園内外の研修時間の確保やオンラインの研修等も多く活用していく。
職員間・保護者への情報共有及び共通理解	○両園舎間の連携強化 ・職員の資質の向上強化 ・メール等の活用 ・職務会の充実 ○保護者への文書配布・モバイルメール発信を迅速に行う。

以上のとおり報告します。

令和4年（2022年）1月24日

ふくよか彩橋認定こども園

園長 大庭 洋子